

# 生物資源経済研究

---

No. 21

2016年

---

- Determinants and Health Impacts of Purchasing Community-based Health Insurance: A Case Study in Rural Cambodia  
.....Seiichi FUKUI and Kana MIWA ( 1)
- 先進的農業経営体における事業展開の論理と方向  
— 六次産業化と農協の役割に着目して —  
..... 小田 滋晃・坂本 清彦・川崎 訓昭・長谷 祐 ( 17)
- 木質バイオマス発電事業と次世代施設園芸の連携について  
..... 小田 滋晃・長谷 祐・上西 良廣  
..... 高橋 隼永・川崎 訓昭・坂本 清彦 ( 29)
- 「農村女性ネットワーク」にみる変革の志向性とその形成過程  
— 「田舎のヒロインわくわくネットワーク」を事例に —  
..... 大石 和男 ( 51)
- (研究ノート)  
「静かな」農業・農村革命  
— 戦後西ドイツ農業史研究の新動向から —  
..... 足立 芳宏 ( 73)

## 『生物資源経済研究』規定

### 1. 投稿資格・著作権・編集要領

- 1) 単著論文の投稿資格者は、生物資源経済学専攻（以下、専攻と略記）教員、本専攻在籍中ないし在籍後5年以内の内地研究員・外国人招聘学者・外国人共同研究者、および編集委員会で特に認めたものとする。なお、別途定める『生物資源経済研究』内規に基づき、本専攻の院生（およびこれと同等以上と認められる者）も、専攻会議の了承のもとに投稿できる。
- 2) 共著論文の第一執筆者は本専攻教員に限定するものとする。
- 3) 著作権：本誌に掲載された論文・抄録の著作権は、本専攻に属するものとする。なお執筆者自身が自らの論文を利用することは差し支えないものとする。
- 4) 原稿の採否の決定：原稿の採否は、編集委員会が決定することとする。採用決定日をもって受理日とする。
- 5) 発行回数と別刷り：年1回発行を原則とする。別刷りは各原稿当たり50部まで無料で著者に贈呈し、それ以上は著者の実費負担とする。なお、必要に応じて『特集号』等を発行できることとし、その発行については「3.『特集号』等の発行」に定めるとおりとする。
- 6) 著者校正：著者校正は原則として2回行う。誤植以外の加筆・修正はできないこととする。

### 2. 執筆要領

- 1) 原稿種別は論文と研究ノートの2種とし、投稿者は投稿時に種別を明記する。
- 2) 原稿枚数は、図・表を含め、和文の場合は横書き400字詰め原稿用紙換算で50枚以内、英文の場合は、A4用紙にダブルスペース（28行、1行10～15単語）で30枚以内を目安とする。和文の場合は英文抄録（300単語以内）と英文題名を、英文の場合は和文抄録（800字以内）と和文題名を投稿時に添付する。原稿は完成原稿とそのハード・コピー2部を、データ・ファイルを添付の上で、編集委員長ないし副委員長に提出するものとする。
- 3) 特殊な専門用語・学術用語のほかは、原則として新仮名遣い・常用漢字を使用する。
- 4) 論文の節項表示は、1. (1)、1)、a のようにする。
- 5) 単位は%、kg、haなどの略号を用い、数字は5億6,728万などと表す。
- 6) 図表は、図1、表1 (Fig1. Table 1) のように示す。また図表の挿入位置については、完成原稿の右余白に朱書きで明示する。
- 7) 本文注記は頁ごとではなく本文末尾に一括して掲載する。また引用文献は注記を原則とし下記の要領によるものとするが、各分野学会誌の様式に準じた表記も認める。

#### ①和文の場合

- a. 著者名「書名」（シリーズ名）、出版社、出版年（奥付けによる）、ページ。
- b. 執筆者名「論文名」、編著者名「書名」（シリーズ名）、出版社、出版年、ページ。
- c. 執筆者名「論文名」、『雑誌名』巻号（年月）、ページ。

#### ②欧文の場合

- a. 名頭文字. 姓, 書名 (出版年: 出版社, 出版年), p. (または pp.)
- b. 名頭文字. 姓, "論文名", 雑誌名, 巻号 (月, 年), p. (または pp.)

### 3. 『特集号』等の発行

- 1) 年1回の定期発行の他に、編集委員会で企画・発議し、専攻会議の承認を得ることにより『特集号』等を発行することができる。
- 2) 『特集号』等の発行については、本規定の「1. 投稿資格・著作権・編集要領」および「2. 執筆要領」に準じるものとするが、編集委員会で別に定める場合はこれにしたがうものとする。
- 3) 発行に関わる費用は通常号とは別扱いとし、専攻会議の承認を得て財源を手当てすることができる。

### 付 記

- (1) 本規定の改正は専攻会議の承認を得なければならない。
- (2) 本規定は平成7年9月14日より実施する。
- (3) 本改正は平成13年7月31日より実施する。
- (4) 本改正は平成17年2月1日より実施する。
- (5) 本改正は平成20年1月1日より実施する。
- (6) 本改正は平成27年1月8日より実施する。
- (7) 本改正は平成28年2月1日より実施する。

## 執筆者紹介(掲載順)

福井 清一	京都大学大学院農学研究科生物資源経済学専攻(国際農村発展論分野)
三輪 加奈	釧路公立大学・経済学部
小田 滋晃	京都大学大学院農学研究科生物資源経済学専攻(経営情報会計学分野)
坂本 清彦	京都大学大学院農学研究科生物資源経済学専攻 (「農林中央金庫」次世代を担う農企業戦略論講座)
川崎 訓昭	京都大学大学院農学研究科生物資源経済学専攻 (「農林中央金庫」次世代を担う農企業戦略論講座)
長谷 祐	京都大学大学院農学研究科生物資源経済学専攻(経営情報会計学分野・研修員)
上西 良廣	京都大学大学院農学研究科生物資源経済学専攻(経営情報会計学分野・D1)
高橋 隼永	京都大学大学院農学研究科生物資源経済学専攻(経営情報会計学分野・M1)
大石 和男	京都大学農学研究科生物資源経済学専攻(農学原論分野)
足立 芳宏	京都大学農学研究科生物資源経済学専攻(比較農史学分野)

## 『生物資源経済研究』第21号の編集を終えて

今、海外調査でフランスにいます。毎年、今頃の季節、パリ市内で農業見本市 Salon International de l'Agriculture が開かれています。9日間で来場者が70万人、家畜が4000頭、膨大な種類の畜産製品や地域の特産品が展示され、多数の農業団体や研究機関のブースが置かれます。親子づれで大変な賑わいで、フランスが農業国であることをアピールするため国家の威信をかけて行っているイベントです。農業大臣はもとより、オランダ大統領もかけつけ、今年は生産者から叱責を浴びていました。牛の側にも「私たちは死ぬ」と書いた黒い幕が掲げられています。経営の赤字が酷く、立ちゆかなくなってきたからです。その背後に、2015年に生産割当が廃止され完全自由になった牛乳市場のなかで、乳業メーカー、さらには大手量販店の強いバイイングパワーが発揮されるようになったことがあります。EUのミルクパッケージ規則や市場政策により、生産者組織を設け価格交渉力を強めることや、価格監視、不公正取引の排除にはのり出していますが、対策はさらに模索されており、自由市場よしとの考えの国と、生産割当には戻せないものの調整が必要との考えの国のなかで、世紀の知恵を絞る時期にさしかかっています。それにしても、何十種類もの際限もないほどの牛が厚い敷き藁の上に座ったり立ったりしている姿は感動の迫力で、このような催しができる力はうらやましい限りです。

農業や食品産業の抱える課題の解決には国を超えて広く深い議論が必要です。本誌には、これまでの理論や方法では手の届かない、新しい現実に向かう挑戦的な論稿を掲載していきたいものです。本学でも年々海外との学術交流を強めていますが、その1つとしてフランスの Agropolis international とドイツの Göttingen 大学との間で大学院生の研究報告ワークショップを行っています。来年度は、発表論文の特別号を発行する計画ですのでご期待下さい。

2016年3月3日

新山 陽子(編集委員長)

## 『生物資源経済研究』第21号編集委員(五十音順)

秋津元輝 浅見淳之 伊藤淳史 伊庭治彦(副委員長)  
北野慎一 栗山浩一 沈 金虎 新山陽子(委員長)

## 生物資源経済研究 第21号

2016年3月17日 印刷

2016年3月25日 発行

編集 京都大学大学院生物資源経済学専攻  
生物資源経済研究 編集委員会

電話 075-753-6201

発行 京都大学大学院生物資源経済学専攻  
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

印刷 創文堂印刷(株)

# The Natural Resource Economics Review

---

 No. 21
 

---



---

**2016**


---

- Determinants and Health Impacts of Purchasing Community-based Health Insurance: A Case Study in Rural Cambodia  
 ..... Seiichi FUKUI and Kana MIWA ( 1)
- Direction of and Rationale for Business Development in Innovative Farms: An Analysis of Multi-sectoral Business Deployment (Rokuji-sangyo-ka) and Roles of Japan Agricultural Cooperative (JA)  
 Shigeaki ODA, Kiyohiko SAKAMOTO,  
 ..... Noriaki KAWASAKI, Tasuku NAGATANI ( 17)
- An Evaluation of Feasibility of Woody Biomass Power Cogeneration and Trigeneration Combined with the Next-generation Greenhouse Horticulture  
 Shigeaki ODA, Tasuku NAGATANI, Yoshihiro UENISHI,  
 ... Junei TAKAHASHI, Noriaki KAWASAKI, Kiyohiko SAKAMOTO ( 29)
- The Direction of Social and Domestic Changes through Networking Movements by Rural Women: A Case Study of the Rural Heroine Network  
 ..... Kazuo OISHI ( 51)
- (Note)  
 “Silent” Agricultural Revolution in Rural West Germany (1945–1973): A Review of Recent Studies on German Agricultural History  
 ..... Yoshihiro ADACHI ( 73)